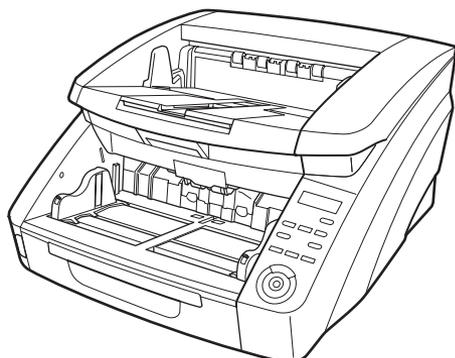


Canon

 imageFORMULA

DR-9050C DR-6050C

ユーザーマニュアル (基本操作編)



DR-9050C



DR-6050C

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品に適合しています。

■ ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・ imageFORMULA は、キャノン電子株式会社の商標です。
- ・ Microsoft Windows® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe, Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください。

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合のみソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともに買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キャノン電子株式会社（以下キャノンといたします。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキャノンまたはキャノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキャノンからその使用権を取得することが必要です。
- (2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- (3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置1台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

3. 保証

キャノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から90日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。

この保証は、「許諾プログラム」に関するキャノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

4. サポートおよびアップデート

キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

5. 保証の否認・免責

- (1) 第3項に定める場合を除き、キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。
- (2) キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

7. 契約期間

- (1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
- (2) お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- (3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
- (4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- (5) 本契約は、上記(2)、(3)または(4)により終了するまで有効に存続します。上記(2)、(3)または(4)により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
- (6) お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

8. 一般条項

- (1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口

頭によるすべての事前および同時発生を理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合にのみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナ「imageFORMULA DR-6050C/DR-9050C」をお買い求めいただきありがとうございます。
います。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

マニュアルの構成について

本機のマニュアルは、製品に付属している「簡単スタートガイド」と「ユーザーマニュアル基本操作編（本書）」、ソフトウェアのインストールによりプログラムメニューに登録される「ユーザーマニュアル機能詳細編」、「CapturePerfect3.0 操作ガイド」の電子マニュアルで構成されています。



簡単スタートガイド

本機を使うようになるまでのセットアップの手順について書かれています。本スタートガイドの手順に従って本機をセットアップしてください。



ユーザーマニュアル基本操作編（本書）

ユーザーマニュアル機能詳細編からの抜粋版で、本機の概要と、本機を使用するための基本操作について書かれています。



ユーザーマニュアル機能詳細編

「ハードウェア編」と「ソフトウェア編」で構成されています。

「ハードウェア編」では、本機のセットアップから取り扱い、メンテナンス、トラブルシューティングなど、本機を取り扱う項目全般について説明しています。

「ソフトウェア編」では、スキャナを使用するためのISIS/TWAINドライバと、ジョブ登録ツールの設定について説明しています。



CapturePerfect3.0 操作ガイド（電子マニュアル）

キャノンドキュメントスキャナ専用アプリケーション CapturePerfect3.0 の操作マニュアルです。



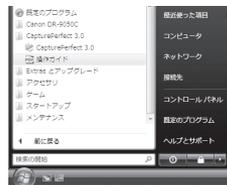
ヒント

- ユーザーマニュアル機能詳細編と、CapturePerfect 3.0 操作ガイドの電子マニュアルは、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されています。

ユーザーマニュアル機能詳細編



CapturePerfect3.0 操作ガイド



- すべてのマニュアルの電子マニュアルは、セットアップ CD から閲覧することができます。



マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

本書の構成について

本書の構成は以下のようになっています。

第1章 お使いになる前に

本機の概要について説明します。

第2章 基本的な使用方法

本機の基本的な使用方法について説明します。

第3章 メンテナンス

日常の清掃やローラーの交換などについて説明します。

第4章 こんなときは

メッセージの表示と困ったときの対処方法について説明します。

第5章 付録

仕様およびサポート情報について説明します。

目次

はじめに	iii
マニュアルの構成について	iii
マニュアル内の表記について	iv
本書の構成について	iv
第1章 お使いになる前に	
1. 安全にお使いいただくために	2
設置場所について	2
電源について	2
スキャナの移動	3
日常の取り扱いについて	3
廃棄について	4
2. 特長	5
3. 各部の名称と機能	8
前面、給排紙部	8
背面	9
操作パネル	10
第2章 基本的な使用方法	
1. 電源のオン/オフについて	12
電源スイッチについて	12
2. 原稿について	13
搬送できる原稿のサイズ	13
3. 給紙トレイ、排紙トレイの準備	16
給紙トレイの準備	16
原稿ガイドの調整	18
排紙トレイの準備	20
4. 給紙方法について	21
給紙方法の選択	21
5. スキャン	23
ジョブ機能について	23
CapturePerfect 3.0 について	24
6. 紙詰まりや重送を検知したときの処理	28
紙詰まりの処理	28
重送を検知したときの処理	29

第3章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ	32
本体の清掃	32
センサーの清掃	32
読み取りガラスとローラーの清掃	33
電源プラグ	34
2. 給紙ローラーの交換	35
ローラーの交換時期	35
カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット	36
ローラーの取り外し/取り付け	37

第4章 こんなときは

1. メッセージ	46
ステータス表示	46
エラーメッセージ	47
2. 困ったときは	49
トラブルの種類	49
現象と対処方法	49

第5章 付録

1. 仕様	54
本体仕様	54
消耗品	55
外形寸法図	56
2. 保証とアフターサービス	57
保証とアフターサービス	57
サービス&サポートのご案内	57
保守サービスのご案内	58
3. 索引	60

第 1 章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために	2
設置場所について	2
電源について	2
スキャナの移動	3
日常の取り扱いについて	3
廃棄について	4
2. 特長	5
3. 各部の名称と機能	8
前面、給排紙部	8
背面	9
操作パネル	10

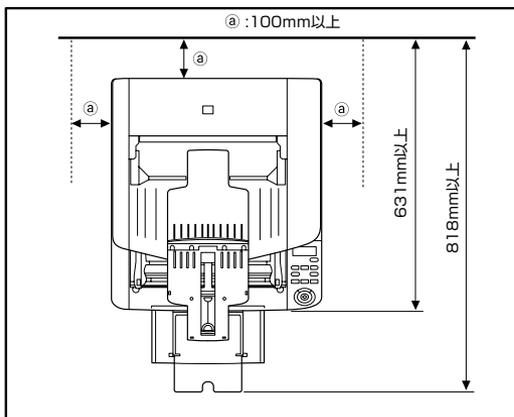
1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃—32.5℃

湿度 20%—80%RH

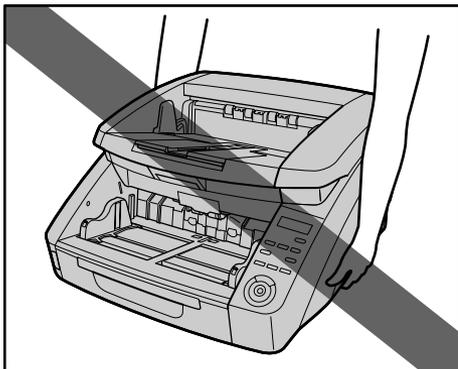
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

電源について

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

スキャナの移動

- 本製品は、質量が約22.5kgあります。本製品を持ち上げたり移動させるときは、必ず両側から2人で持ち、絶対に1人で持ち上げたりしないでください。落としたり手をはさんだりして大ケガをすることがあります。また、移動の際は十分注意して移動させてください。



- スキャナを移動する場合は、インターフェースケーブルや電源コードを必ず外してください。ケーブル類を接続したまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷したり、本体を落としてけがをする原因になります。

日常の取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- リール式の延長コードを使用するときはすべてのコードを引き出して使用してください。コードをリールに巻き込んだ状態で長時間使用した場合、発熱や火災の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
 - 通気孔をふさがしないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
 - 本機の上には、クリップ、ステーブルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
 - 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
 - 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
 - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
 - いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
 - 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
 - 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などは注意してください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
 - 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄について

- 本機および付属品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

2. 特長

本機の主な特長は以下のとおりです。

スキャナ本体の特長

● 多様な読み取りモード

読み取りモードとして、以下のモードが用意されています。

「白黒」、「誤差拡散」、「アドバンステキストエンハンスメント」、「アドバンステキストエンハンスメントII」、「256階調グレー」、「24ビットカラー」

* アドバンステキストエンハンスメントは、原稿の背景や地色を処理して文字を読みやすくするモードです。

● 高速原稿給紙

白黒、グレースケール、カラーすべての読み取りモードでA4サイズの原稿を最大90枚/分（DR-9050Cの場合）で読み取ります。

* 読み取り条件：A4縦/両面/200dpi

● 大容量給紙

給紙トレイには普通紙で最大500枚（DR-6050Cの場合は最大300枚）の原稿をセットすることができます。

● カウントオンリーモード

スキャナ単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。

● 給紙トレイ位置の変更

給紙トレイの位置を原稿の枚数に合わせて変更することができます。（→P.16「給紙トレイの準備」）

● 長尺モード

ユーザーモードの設定により、最大3,000mmまでの長さの原稿をスキャンすることができます。（→P.14「長尺モードの設定」）

● ジョブ機能

スキャン条件、画像ファイルの保存先をジョブに登録し、操作パネルのキー操作のみでスキャンを実行することができます。（→P.23「ジョブ機能について」）

● フレキシブル原稿ガイド

左右の原稿ガイドを任意の位置に動かすことにより、原稿を左右に寄せてスキャンすることができます。

（→P.18「原稿ガイドの調整」）

● ユーザーモード

ユーザーモードの各機能により、スキャナの機能を任意に変更することができます。ユーザーモードの設定および詳細についてはユーザーマニュアル（機能詳細編）を参照してください。

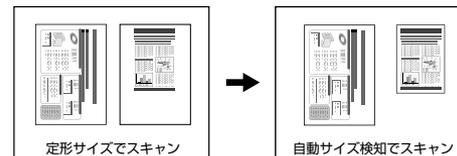
検知機能

● カラー白黒検知

スキャンした原稿が白黒原稿か、カラー原稿かを自動検知します。

● 自動原稿サイズ検知

スキャンした原稿のサイズを検知してスキャンします。



● 斜行検知

原稿が斜めに搬送され、原稿が搬送路の端に接触したことを検知して搬送を停止します。

● ステープル検知

ステープルで綴じられた原稿を検知して搬送を停止します。

● 超音波重送検知

超音波センサーによって原稿の重なりを検知して搬送を停止します。

* 原稿に貼られたラベルなどを重送として検知させないようにするための非検知領域を設定できます。

● 長さによる重送検知

原稿の長さの比較によって原稿の重なりを検知し、搬送を停止します。

* 1枚目の原稿の長さを基準とし、長さの異なる原稿が搬送されたときに重送を検知します。

● プレスキャン

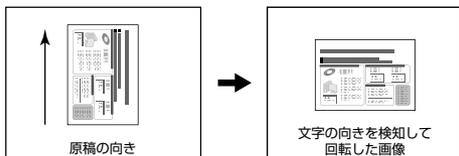
スキャンを開始したときに原稿を1枚スキャンして中断し、1枚目の画像で明るさとコントラストを調整してからスキャンを行います。

● ベリファイスキャン

カウントオンリーモードでカウントした枚数または、あらかじめ設定した枚数と、スキャンした枚数を照合しながらスキャンします。

● 文字向き検知

原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を90度単位で回転します。



画像処理

● 裏写り / 地色除去

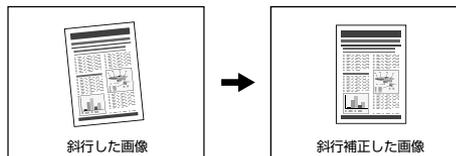
薄い原稿をスキャンしたときに起きる原稿の裏写りや原稿の地色を除去します。

● 画像回転

スキャンした画像を90度単位で回転または、原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を90度単位で回転します。

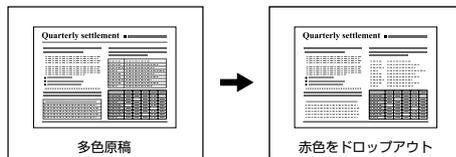
● 斜行補正

スキャンした画像から原稿が斜めに搬送されたと判断したときに、画像をまっすぐに補正します。



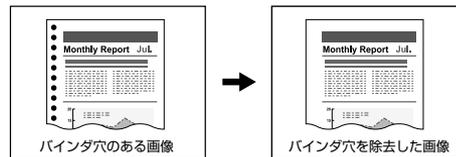
● ドロップアウト / 色強調

スキャン時に赤、青、緑色から1色を指定または中間色を色の範囲で指定して読み取らないようにするドロップアウト機能または、指定した色を強調する機能を備えています。



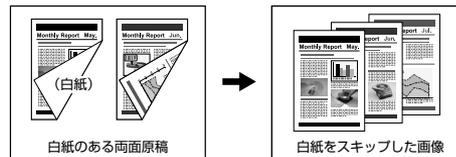
● バインダ穴除去

バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分除去します。



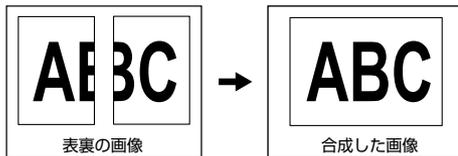
● 白紙スキップ

原稿の両面をスキャンして、白紙として判断した面の画像の保存をスキップします。



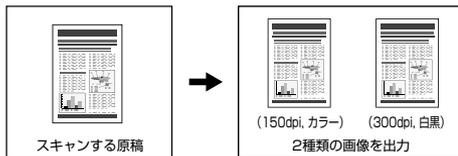
● 半折りスキャン

給紙口にセットできない原稿を半折りにして両面をスキャンし、スキャンした表裏の画像を1枚の画像に合成します。



● マルチストリーム

用途に合わせて読み取り条件の異なる2つの画像を1回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能は本機に付属している「CapturePerfect3.0」または、お使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。



その他

● 継続モード

紙詰まりや重送など、原稿が正常に搬送されなかったことをセンサーが検知して搬送を停止したときに、スキャンを中断状態にするモードで、原稿を処理した後、異常を検知した原稿からスキャンを継続します。(→P.28「紙詰まりや重送を検知したときの処理」)

* 継続モードは、「紙詰まり」、「重送」、「斜行」、「ステーブル」を検知して搬送が停止したときに有効です。

オプション

● インプリンタ

オプションとして、スキャンした原稿に印字することができます。

● バーコード検知

オプションのバーコードモジュールをインストールすることにより、原稿内のバーコードを検知することができます。

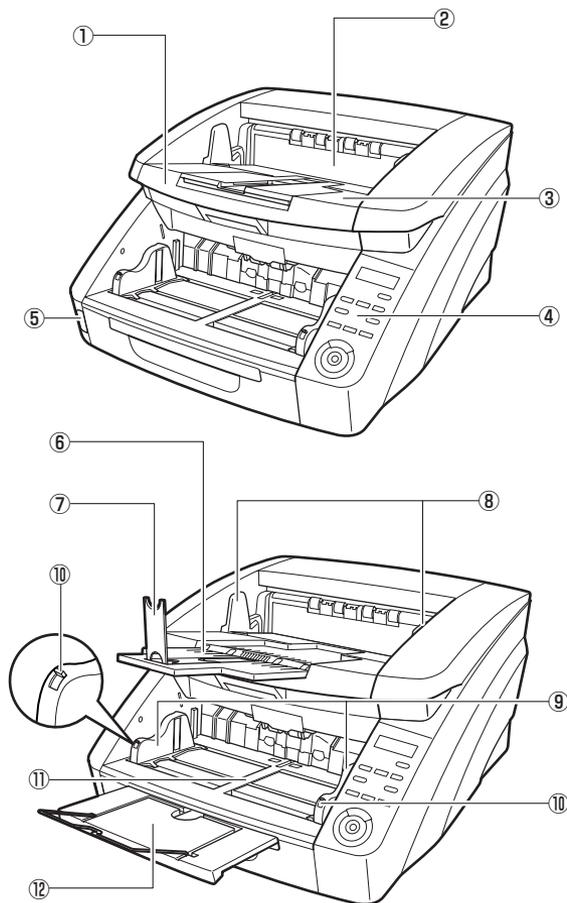
● パッチコード対応

オプションのパッチコードデコーダを装着することにより、原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うことができます。

3. 各部の名称と機能

各部の名称と機能は以下のとおりです。

前面、給排紙部

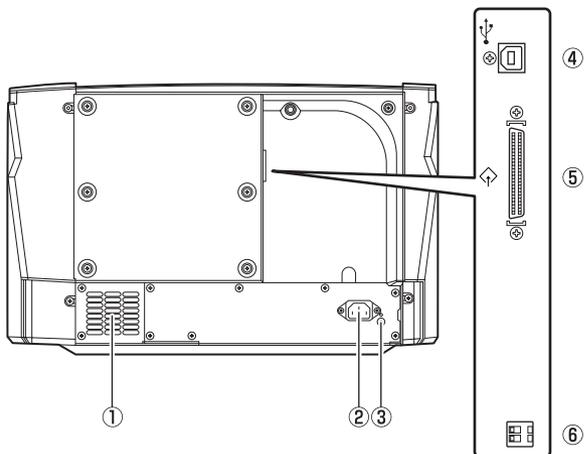


- ① 上部ユニット
原稿が詰まったときやローラーの清掃時に開きます。
- ② インプリンタカバー
オプションのインプリンタのインクカートリッジを交換するときや、インプリンタの清掃時に開きます。
- ③ 排紙トレイ
スキャンした原稿が排出されます。
- ④ 操作パネル (→P.10)
- ⑤ 電源スイッチ
スキャナの電源をオン/オフします。
- ⑥ 排紙補助トレイ
原稿が排紙トレイから落ちるようなときに開きます。
- ⑦ 排紙ストッパー
原稿の長さに合わせて調整することで、原稿の飛び出しを防ぎます。
- ⑧ 排紙原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調整することで、排出される原稿をそろえます。
- ⑨ 給紙原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調整します。
- ⑩ 原稿ガイドロックレバー
原稿ガイドをロックします。
- ⑪ 給紙トレイ
スキャンする原稿をセットします。
- ⑫ 給紙補助トレイ/ワイヤ
原稿の長さに合わせて引き出します。



インプリンタカバーは、オプションのインプリンタが装着されていない場合には、開けないでください。

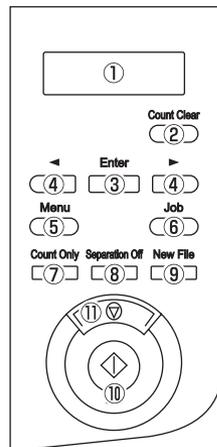
背面



- ① **通気孔 (排気ファン)**
本機内部の熱を排熱します。
- ② **電源コネクタ**
付属の電源コードを接続します。
- ③ **アース端子**
付属のアースを接続します。
- ④ **USB コネクタ (Type B)**
付属の USB ケーブルを接続します。
- ⑤ **SCSI コネクタ (D-sub ハーフピッチ 50 ピン)**
SCSI コネクタを接続します。
- ⑥ **ディップスイッチ (SCSI ID)**
SCSI ID を設定します。



注意 通気孔はふさがりません。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



- ① **表示パネル**
ユーザーモードやジョブ、メッセージ、カウンターなどを表示します。
- ② **Count Clear キー**
表示パネルのカウンターをクリアします。
- ③ **Enter キー**
ユーザーモードを選択、確定します。
- ④ **◀ ▶ キー**
ユーザーモードやジョブなどの機能を選択します。
- ⑤ **Menu キー**
ユーザーモードを表示します。
- ⑥ **Job キー**
ジョブを選択します。
- ⑦ **Count Only キー**
カウントオンリーモードになり、原稿の枚数をカウントします。
- ⑧ **Separation Off キー**
給紙トレイが上昇して手差し給紙になります。
- ⑨ **New file キー**
キー操作によるファイル区切りを選択したときにファイルを区切ります。
- ⑩ **スタートキー**
スキャンを開始します。
- ⑪ **ストップキー**
スキャンを終了します。

第2章 基本的な使用方法

1. 電源のオン/オフについて	12
電源スイッチについて	12
2. 原稿について	13
搬送できる原稿のサイズ	13
3. 給紙トレイ、排紙トレイの準備	16
給紙トレイの準備	16
原稿ガイドの調整	18
排紙トレイの準備	20
4. 給紙方法について	21
給紙方法の選択	21
5. スキャン	23
ジョブ機能について	23
CapturePerfect 3.0について	24
6. 紙詰まりや重送を検知したときの処理	28
紙詰まりの処理	28
重送を検知したときの処理	29

1. 電源のオン/オフについて

本機の電源のオン/オフについて説明します。



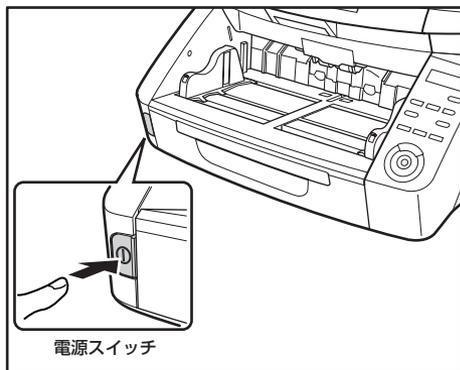
注意

- 本機の電源をオフにしたときは、約 10 秒待ってから電源をオンにしてください。
- SCSI ケーブルで接続しているときは、必ず本機→コンピュータの順で電源をオンにしてください。コンピュータ→本機の順に電源をオンにするとコンピュータが本機を正常に認識できない場合があります。

電源スイッチについて

電源スイッチは本機の前面左下にあります。電源をオンにするときは、電源スイッチを押します。

電源をオフにするときは、電源スイッチを再度押してオフにします。



ヒント

ユーザーモードでトレイ位置が最下位以外の高さに設定されている場合は、電源をオンにすると給紙トレイが上下に動きます。このとき、給紙トレイは一度一番低い位置まで下りてから、設定されている高さに移動します。電源をオフにしたときは給紙トレイは動かず、設定された高さが維持されます。(→P.16)



重要

- SCSI ケーブルで接続している場合は、必ずスキャナー→コンピュータの順に電源をオンにしてください。コンピュータの電源を先にオンにするとスキャナを正常に認識できない場合があります。
- 電源をオフにし、再度電源をオンにするときは 10 秒以上待ってから電源をオンにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 原稿について

本機は、名刺、小切手などの小さいものから、A3サイズまでの原稿をスキャンすることができ、搬送できる原稿は給紙方法によって以下のサイズ、紙厚の原稿が使用できます。

搬送できる原稿のサイズ

本機では、以下のサイズの原稿を搬送することができます。

サイズ

幅 : 50.8 ~ 305 mm

長さ : 70 ~ 432 mm (長尺モードが[OFF]の場合)

70 ~ 1,000 mm (長尺モードが[ON1]の場合)

70 ~ 3,000 mm (長尺モードが[ON2]の場合)



ヒント

ユーザーモードで本機を「長尺モード」にした場合、用紙サイズ検知でスキャンすることにより最大3,000mmの長さの原稿をスキャンすることができます。
(→ P.14 「長尺モードの設定」)

紙厚

連続給紙 : 52 ~ 209 g/m² (0.06 ~ 0.25mm)

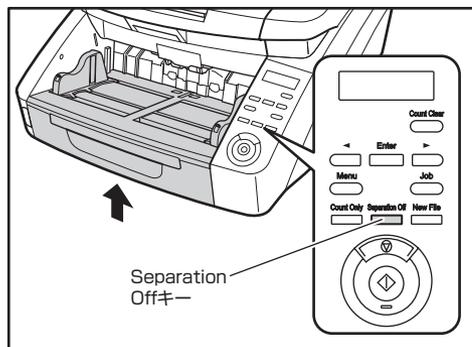
手差し給紙 : 42 ~ 255 g/m² (0.05 ~ 0.30mm)



ヒント

● 連続給紙は、原稿の束を給紙トレイにセットして、フィードローラーとリタードローラーで原稿を1枚ずつ分離しながら連続給紙を行います。

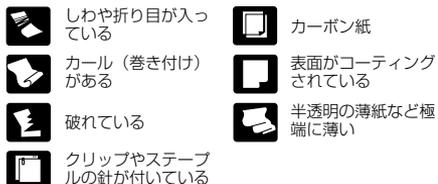
- 手差し給紙は、操作パネルの [Separation Off] キーが点灯し、給紙トレイが上昇した状態で原稿を1枚ずつセットします。



重要

- 読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。
 - 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
 - インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
 - 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取った後は、スキャナの内部を清掃してください。
 - 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整するか、「裏写り / 地色除去」の設定を有効にしてから実行してください。

- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になりますので注意してください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから行ってください。



- 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向けて、「手差し給紙」でスキャンします。
- 長尺モードの場合、手差し給紙で1枚ずつスキャンします。

積載枚数

DR-6050C :

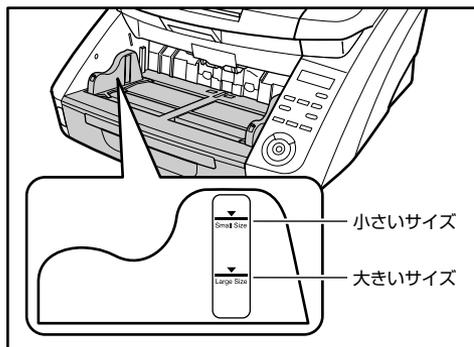
上質紙 300 枚または高さ 28 mm 以下（最大）

DR-9050C :

上質紙 500 枚または高さ 48 mm 以下（最大）



給紙トレイの積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙詰まりの原因になります。



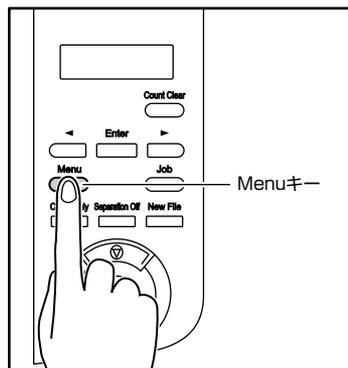
小さいサイズ：A4 以下の大きさの原稿をセットするとき
大きいサイズ：A4 より大きい原稿をセットするとき

■ 長尺モードの設定

本機を長尺モードにすると、最大 3,000mm までの原稿をスキャンすることができます。

長尺モードの設定を変更するときは、ユーザーモードの「チョウジャクモード」で設定を変更します。

1. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

フ ` サ ` ー セ ッ テ イ
[ON 2] ON 1 OFF

2. [▶] キーを 4 回押して [チョウジャクモード] を表示させます。

チ ョ ウ シ ` ャ ク モ ー ト `
ON 2 ON 1 [OFF]

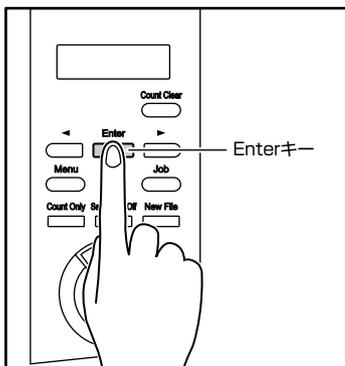
3. 設定を確認します。

[ON2] : 用紙サイズの設定を [自動検知] または最大サイズにしたときに、最大 3,000mm までの長さの原稿を検知します。

[ON1] : 用紙サイズの設定を [自動検知] または最大サイズにしたときに、最大 1,000mm までの長さの原稿を検知します。

[OFF] : 用紙サイズの設定を [自動検知] にしたときに、432mm までの長さの原稿を検知します。

4. [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。

5. [◀]、[▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

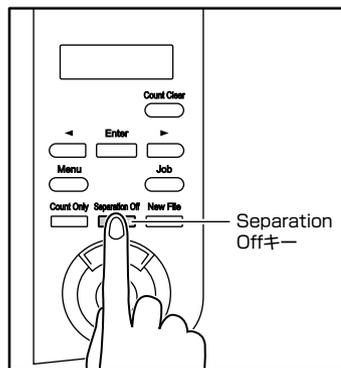
6. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。



重要

- 長尺モードでスキャンする場合、処理速度が低下することがあります。
- 長尺モードを [ON1] に設定してスキャンする場合、読み取りモードをカラー、画像品質を「画質優先」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、白黒にしたり、画像品質を低くしてスキャンしてください。

- 長尺モードを [ON2] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、読み取りモードをカラー、読み取り面を「両面」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、白黒にしたり、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。
- 長尺モードでスキャンする場合、「高画質モアレ除去」、「斜行補正」および画像回転の「90度」または「270度」は使用できません。
- 長い原稿をスキャンする場合、原稿が傾いてセットされると原稿の後部が給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、紙詰まりの検知が遅れて原稿を破損する場合があります。紙詰まりには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、操作パネルにある [Separation Off] キーを押して、手差しで 1 枚ずつ給紙してください。



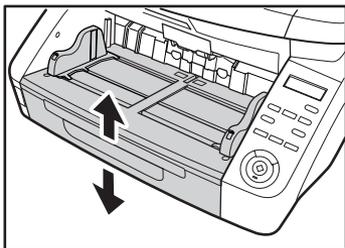
3. 給紙トレイ、排紙トレイの準備

原稿をスキャンする前に、原稿に合わせて給紙トレイと排紙トレイの準備を行います。

給紙トレイの準備

■ 給紙トレイ

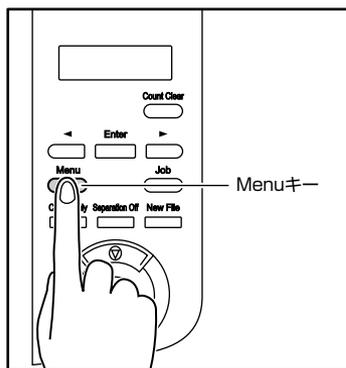
給紙トレイの高さはセットする原稿の量によって調整することができます。初期値では一番低い位置に設定されています。



トレイ位置の設定

給紙トレイの高さは、ユーザーモードの「トレイ イチ」で設定し、セットする原稿の枚数に適した位置に設定することにより搬送を開始するまでの時間が短くなります。

1. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```
フ ャ ー セ ッ テ イ  
[ ON 2 ] ON 1 OFF
```

2. [◀] キーを5回押して【トレイ イチ】を表示させます。

```
ト レ イ イ チ  
2 1 [ 0 ]
```

3. 設定を確認します。

DR-6050C の場合

[0] : 原稿のセット枚数が300枚以下

[1] : 原稿のセット枚数が100枚以下

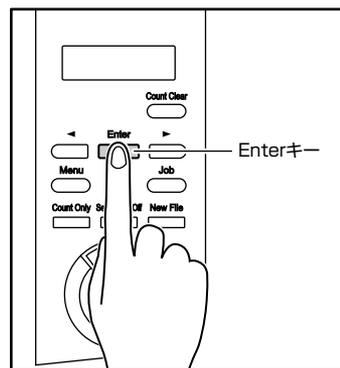
DR-9050C の場合

[0] : 原稿のセット枚数が500枚以下

[1] : 原稿のセット枚数が300枚以下

[2] : 原稿のセット枚数が100枚以下

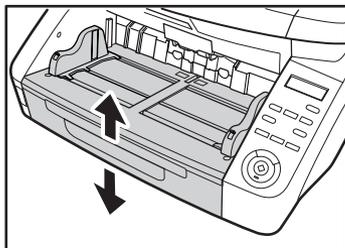
4. [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。

5. [◀],[▶]キーで選択し,[Enter]キーで確定します。

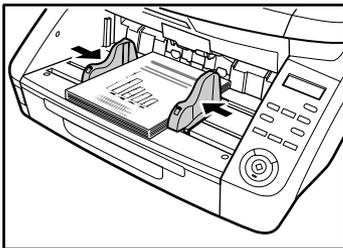
給紙トレイが設定した高さに移動します。



6. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

■ 原稿ガイド

原稿の幅に合わせて原稿ガイドの位置を調整します。

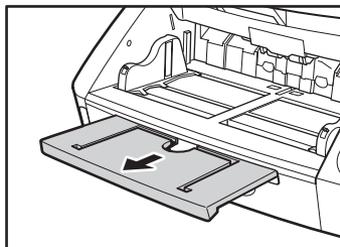


ヒント

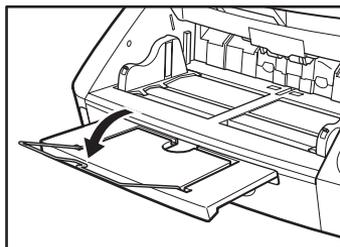
原稿ガイドをロックして左右の位置を変えることができます。詳細については「原稿ガイドの調整」(→P.18)を参照してください。

■ 給紙補助トレイ/ワイヤ

原稿の長さに合わせて給紙補助トレイを引き出します。



補助ワイヤを開きます。



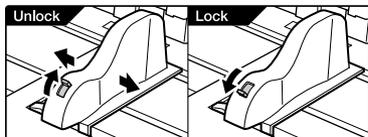
補助ワイヤは、原稿が給紙補助トレイよりはみ出す場合に使用します。

ヒント

原稿ガイドの調整

原稿ガイドは給紙口中心に対して左右均等に開き、原稿を給紙口中心にセットします。

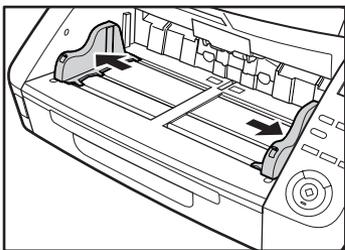
原稿ガイドにはロックレバーがあり、原稿を右または、左に寄せてセットするときは、原稿ガイドをロックして原稿ガイドの左右の位置を変更することができます。



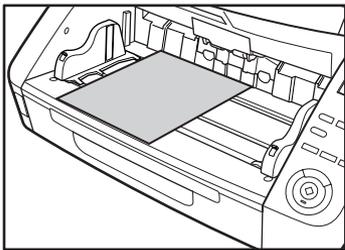
■ 原稿を左に寄せる場合の調整手順

原稿を左に寄せてセットする手順を一例として説明します。

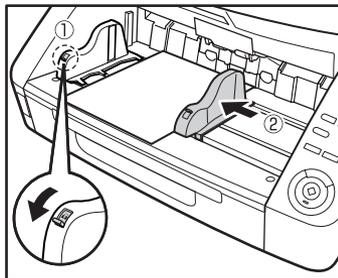
1. 原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。



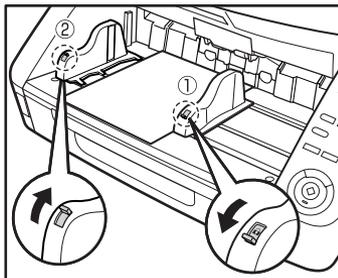
2. 原稿をセットします。



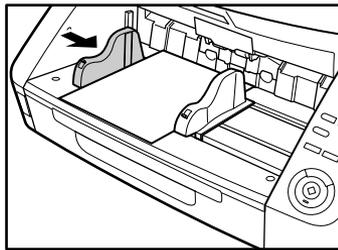
3. 左側の原稿ガイドをロックし(①)、右側の原稿ガイドを原稿に合わせて(②)。



4. 右側の原稿ガイドをロックし(①)、左側の原稿ガイドのロックを解除します(②)。



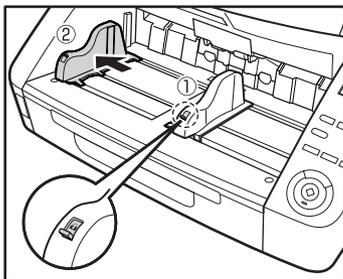
5. 左側の原稿ガイドを原稿に合わせて(①)。



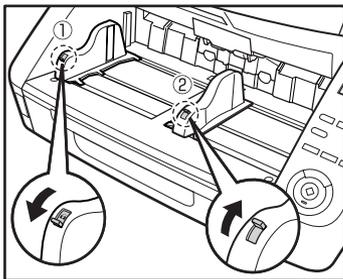
■ 原稿ガイドのリセット

原稿ガイドを左右均等の位置に戻すときは、以下の手順で原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。

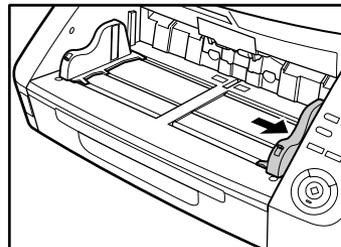
1. 右側の原稿ガイドのロックを確認し (①)、左側の原稿ガイドを左側いっぱいまで開きます (②)。



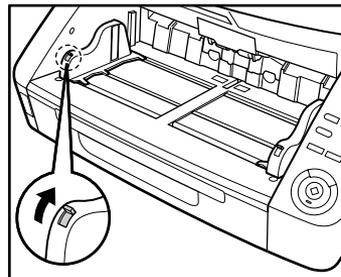
2. 左側の原稿ガイドをロックし (①)、右側の原稿ガイドのロックを解除します (②)。



3. 右側の原稿ガイドを右側いっぱいまで開きます。



4. 左側の原稿ガイドのロックを解除します。



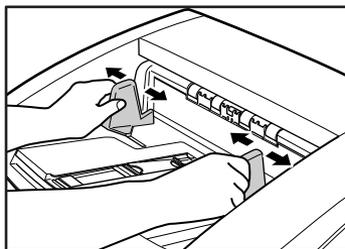
排紙トレイの準備

排紙トレイには、原稿ガイドと排紙補助トレイ、排紙ストッパーがあり、それぞれセットした原稿の幅と長さに合わせて調整します。

■ 原稿ガイド

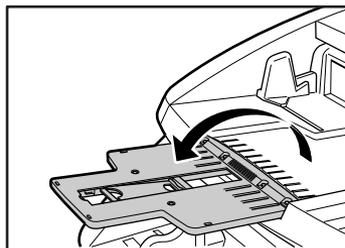
両側の原稿ガイドを持ち、セットする原稿の幅に合わせて位置を調整します。

原稿の排紙位置は、カウントオンリーモードで原稿を1枚搬送することで確認できます。カウントオンリーモードの詳細については、ユーザーマニュアル（機能詳細編）を参照してください。



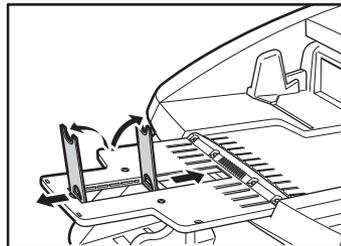
■ 排紙補助トレイ

原稿が排紙トレイから落ちるようなときは、排紙補助トレイを開きます。



■ 排紙ストッパー

原稿が排紙トレイから飛び出して落下するようなときは、排紙ストッパーを立てて原稿が飛び出さないようにします。



ヒント

排紙ストッパーは排紙補助トレイに設けられており、原稿の長さに合わせて位置を調整します。

A4サイズの原稿をセットするときは、排紙補助トレイを閉じて、上側の排紙ストッパーを立てます。A3サイズの原稿をセットするときは、排紙補助トレイを開いて、上側の排紙ストッパーを立てます。

4. 給紙方法について

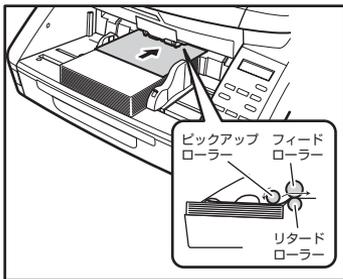
原稿の給紙方法には、給紙トレイにセットした原稿をピックアップローラーで連続して搬送する「連続給紙」と、ピックアップローラーを停止させ、原稿がフィードローラーで搬送される位置まで1枚ずつ手で差し込む「手差し給紙」があります。

給紙方法の選択

給紙方法は標準で「連続給紙」に設定されており、ISIS/TWAINドライバの「給紙オプション」で「手差し給紙」を選択または、操作パネルの「Separation Off」キーを押したときに「手差し給紙」になります。また、滑りの悪い原稿の束をスキャンする際に原稿の分離を確実にを行う方法として、「連続手差しモード」が用意されています。

連続給紙

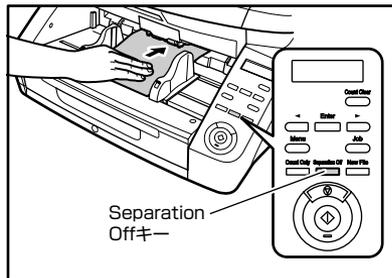
連続給紙では、ピックアップローラーで引き込まれた原稿を、フィードローラーで搬送するとともに、原稿が重送しないようにリタードローラーで原稿を1枚ずつ分離します。



手差し給紙

「Separation Off」キーが点灯し、給紙トレイが上昇して1枚ずつの給紙になります。

手差し給紙のときはピックアップローラーが停止しているため、原稿をフィードローラーで引き込まれる位置まで挿入します。



- 手差し給紙では、リタードローラーによる原稿の分離を行いません。複数枚の原稿をセットすると、まとめて搬送されて紙詰まりになる場合があります。
- 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向け、「手差し給紙」でスキャンします。

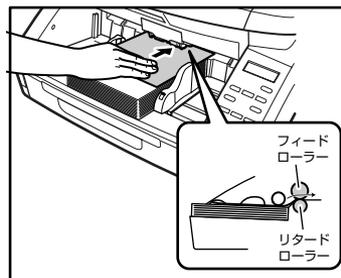


「Separation Off」キーは、ISIS/TWAINドライバで設定する「給紙オプション」の「手差し給紙」と相互に連動しています。

操作パネルの「Separation Off」キーを押す、または「給紙オプション」を「手差し給紙」に設定すると「Separation Off」キーが点灯して給紙トレイが上昇します。

連続手差しモード

連続手差しモードはユーザーモードで設定し、連続給紙で原稿の分離がうまくできないような原稿をスキャンするときに使用します。



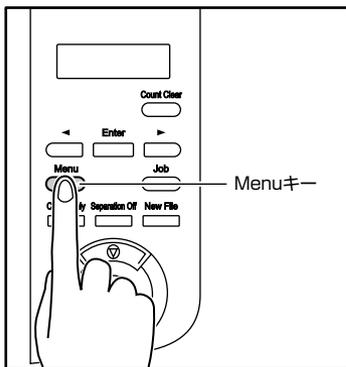
! ユーザーモードで「連続手差しモード」を [ON] にしたときは、スキャンが終了したら必ず「連続手差しモード」を [OFF] に戻してください。他の人が使用するときには連続給紙ができなくなります。

! 通常の手差し給紙では、原稿の束をスキャナの横に置いて、原稿を1枚ずつ取り上げて給紙するのに対して、連続手差しモードでは、原稿の束を給紙トレイに置いて1枚ずつ差し込むため作業が楽になります。

■ 連続手差しモードの設定

連続手差しモードは、ユーザーモードの「レンゾク テザシ モード」で設定します。

1. 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```
フ ザ ー セ ッ テ イ  
[ ON 2 ] ON 1 OFF
```

2. [▶] キーを5回押して [レンゾク テザシ モード] を表示させます。

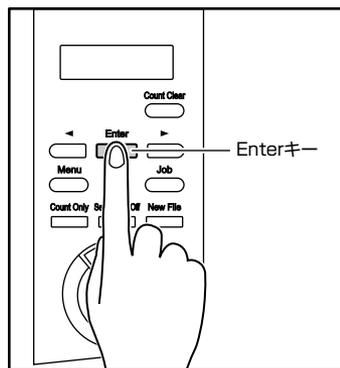
```
レ ン ゾ ク テ ザ シ モ ー ド  
ON [ OFF ]
```

3. 設定を確認します。

[ON] : ピックアップローラーを無効にし、セットした原稿は1枚ずつフィードローラーで搬送されるまで差し込みます。

[OFF]: 「Separation Off」キーが点灯している場合を除き、ピックアップローラーにより原稿が連続搬送されます。

4. [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。

5. [◀]、[▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

6. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

5. スキャン

本機のスキャン方法には、本機に付属の「CapturePerfect3.0」などのスキャニングアプリケーションでスキャンする他に、操作パネルの操作でスキャンを実行する「ジョブ機能」があります。

本項では、「ジョブ機能」と「CapturePerfect3.0」の概略について説明します。

ジョブ機能について

ジョブ機能は、「ジョブ登録ツール」でジョブを登録し、操作パネルの「Job」キーで登録したジョブを選択/実行してスキャンを行う機能です。

ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されます。



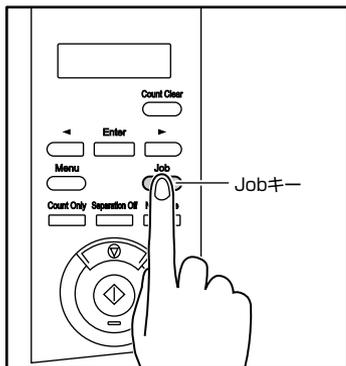
ヒント

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAINドライバと一緒にインストールされるTWAIN互換アプリケーションです。詳細については、ユーザーマニュアル（機能詳細編）「第9章 ジョブ登録ツールの設定」を参照してください。

■ ジョブの実行

ジョブ登録ツールで登録したジョブは、以下の手順で実行します。

1. 操作パネルの「Job」キーを押します。



登録されているジョブが表示されます。

01 : A4 B / W 200
Documents

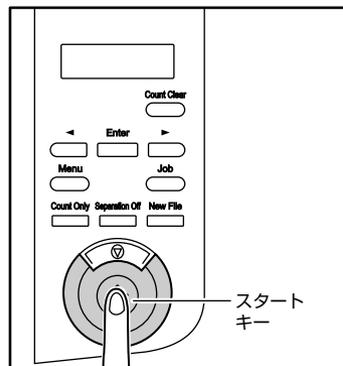


ヒント

ジョブが表示されないときは、ジョブ登録ツールでジョブを登録してください。

2. [◀]、[▶]キーでジョブを選択します。

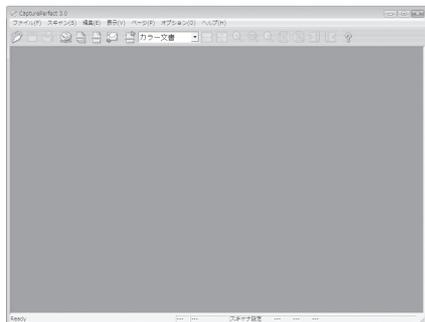
3. スタートキーでジョブを実行します。



4. 指定されているフォルダを開いて画像ファイルを確認します。

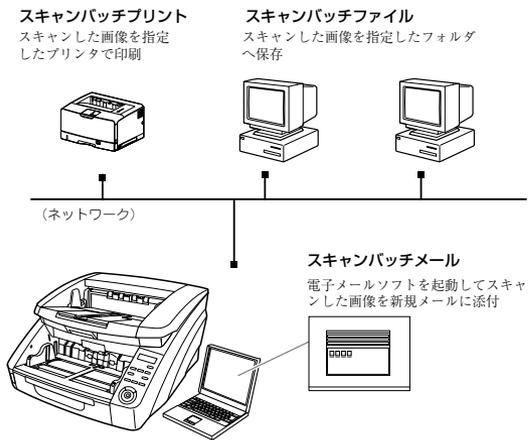
CapturePerfect 3.0 について

CapturePerfect 3.0は、キヤノンドキュメントスキャナ専用のISIS 互換アプリケーションです。CapturePerfect 3.0の詳細については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してください。



■ CapturePerfect のスキャン方法

CapturePerfect 3.0には以下のスキャン方法がありスキャンメニューからスキャン方法を選択して実行します。



スキャンバッチファイル

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。

スキャンバッチプリント

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

スキャンバッチメール

設定した読み取り条件でスキャンを行い、MAPIに対応した電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

スキャン1ページ

原稿を1枚スキャンして終了します。

スキャンジョブ

ジョブ機能と同様に、読み取り条件とスキャン方法(スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール)をあらかじめジョブとして登録しておき、スキャンジョブの実行は、ツールバーからジョブを選択(①)→実行(②)の2つの操作で行います。



スキャンジョブにはあらかじめ以下の2つのジョブが登録されており、最大99個のジョブを登録することができます。

- カラー文書
原稿を24ビットカラー、片面300dpiでスキャンし、画像ファイルを【ピクチャ】フォルダにPDF形式で保存します。
- 白黒文書
原稿を白黒、片面200dpiでスキャンし、画像ファイルを【ピクチャ】フォルダにPDF形式で保存します。

スキャンバッチプレゼンテーション

小型のスキャナをプレゼンテーションの会場などに持ち込み、大型ディスプレイやプロジェクタが接続された環境で使用する場合に有効なモードで、CapturePerfectを全画面表示に切り替えてスキャンを行い、スキャンした画像をディスプレイに表示します。



本機能は、大型のスキャナでの使用には適していません。

ヒント

■ CapturePerfect の操作手順

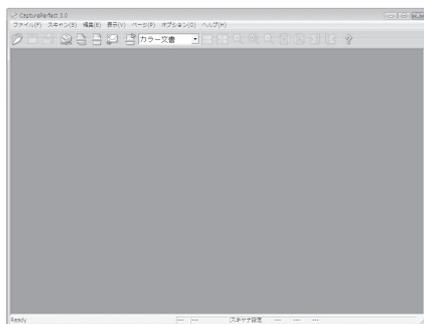
CapturePerfect 3.0の起動から「スキャンバッチファイル」でのスキャン手順について説明します。

その他のスキャン方法の手順については「CapturePerfect 3.0操作ガイド」を参照してください。

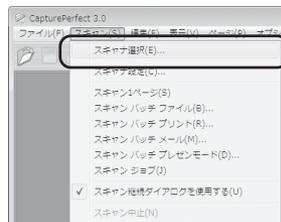
1. [スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[CapturePerfect3.0]-[CapturePerfect3.0]をクリックします。



CapturePerfect3.0が起動します。



2. [スキャン]メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



[スキャナ選択] ダイアログボックスが表示されます。

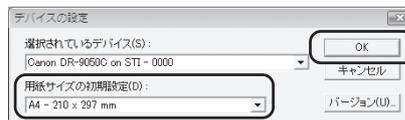
3. [CANON DR-XXXX]を選択し、[設定]ボタンをクリックします。(XXXXはお使いの機種により異なります)



重要

[CANON DR-XXXX]が表示されないときは、ISIS/TWAINドライバのインストールをやり直してください。

4. 用紙サイズの初期値を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

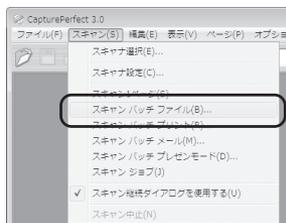


重要

ISISドライバの設定ダイアログボックスで[初期値]ボタンをクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。

5. [OK]ボタンをクリックしてスキャナの選択を終了します。

6. [スキャン]メニューから[スキャンバッチファイル]をクリックします。



[スキャンバッチファイル設定]ダイアログボックスが表示されま
す。



7. [スキャナ設定]ボタンをクリックします。



ISIS ドライバの設定ダイアログボックスが表示されます。



8. 読み取り条件を設定します。

 **ヒント** 設定ダイアログボックスの詳細については、ユーザーマニュアル（機能詳細編）を参照してください。

**9. [OK]ボタンをクリックしてスキャナの設定を終了しま
す。**

10. 保存するファイル名、ファイル形式を指定します。

スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスのその他の設定
については「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」を参照してくだ
さい。

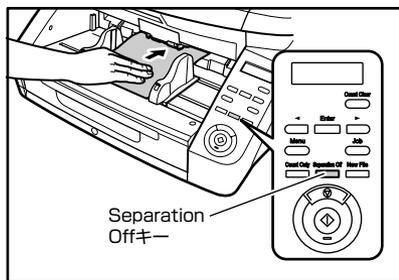
11. 原稿をセットし、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。

重要 読み取り条件の給紙オプションの設定によって、原稿のセットが以下ようになります。

- 給紙オプションが [標準給紙] のときはスキャンを開始する前に原稿をセットし、原稿がなくなると「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。

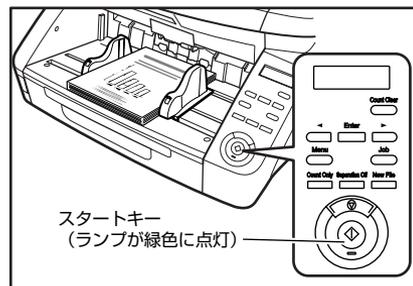


- 給紙オプションが [手差し給紙] のときは「Separation Off」キーが点灯して給紙トレイが上昇しています。原稿を1枚ずつ奥まで差し込みながらスキャンを繰り返し、ストップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



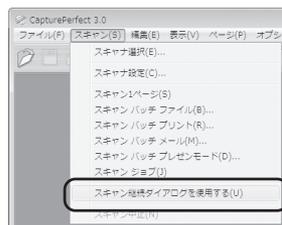
- 給紙オプションが [自動給紙]、[パネルで給紙] の場合、スキャンを開始したときに原稿がセットされているとスキャンを行い、原稿がセットされていないときは待機状態になります。

- 給紙オプションが [自動給紙] の場合、給紙トレイのセンサーが原稿のセットを検知するたびにスキャンを行い、ストップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。
- 給紙オプションが [パネルで給紙] の場合、スタートキーのランプが点灯します。原稿をセットしてスタートキーを押すとスキャンを行い、ストップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



12. [スキャン継続] ダイアログボックスが表示されたら、原稿の有無を確認し、[スキャン継続] または [スキャンストップ] をクリックします。

- **重要** [スキャン] メニューの「スキャン継続ダイアログを使用する」にチェックがない場合、「スキャン継続」ダイアログボックスを表示しないでスキャンを終了します。



13. スキャンが終了したら [ファイル] メニューから [アプリケーションの終了] を選択して CapturePerfect を終了させます。

6. 紙詰まりや重送を検知したときの処理

スキャン中に紙詰まりや重送が発生したらコンピュータのディスプレイおよび表示パネルに紙詰まりのメッセージが表示されます。以下の手順に従って紙詰まりの処理を行ってください。



注意

- 詰まった紙を取り除くときは、慎重に行ってください。原稿を破損したり、紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。
- 詰まった用紙はすべて取り除いてください。破れた用紙などが内部に残っていると、紙詰まりや故障の原因になります。
- 上部ユニットを開閉するときは、手をはさまないように注意してください。

紙詰まりの処理

スキャン中に紙詰まりが発生したとき、表示パネルに以下のメッセージを表示して搬送を停止します。

カミカゝツマリマシタ

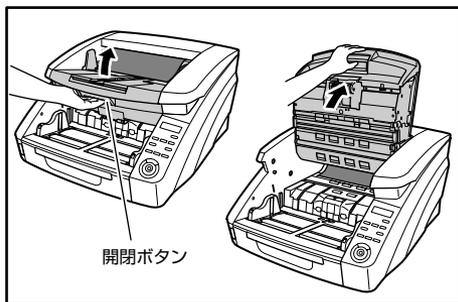
P 0 0 1



ヒント

エラーコードは、詰まった原稿の位置によって変わります。詳細については「エラーメッセージ」(→P.47)を参照してください。

1. 排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。
2. 開閉ボタンを押しながら上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。



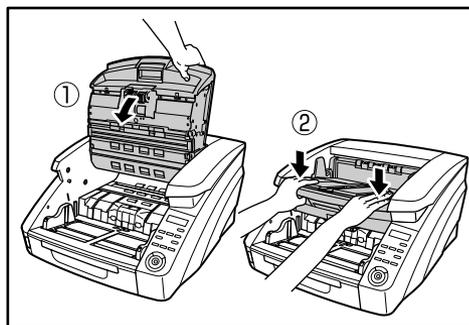
3. 詰まっている原稿を取り除きます。



重要

- 排紙トレイに排紙の途中で止まっている原稿は、上部ユニットを少し開いた状態にして取り除きます。
- 本体の内部で止まっている原稿は、上部ユニットを止まるところまで開いて取り除きます。

4. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



5. 保存されている最後の画像を確認して、スキャンをやり直します。

- 「スタートキー オシテクダサイ」が表示された場合
ISIS/TWAINドライバの設定で「継続モード」が設定されている場合、紙詰まりを処理した後、表示パネルに以下のメッセージが表示されます。

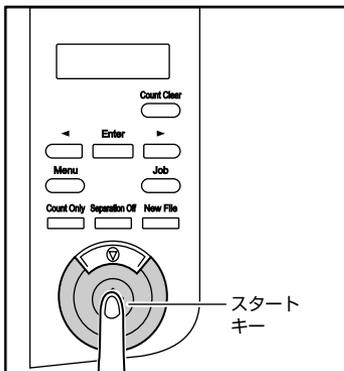
スタートキー オシテクダサイ

- 重要** ! ISIS/TWAINドライバの「継続モード」の設定により、紙詰まりになったときの画像ファイルの処理が以下ようになります。



- 継続モードを設定していない場合、紙詰まりを検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了し、エラーメッセージを表示します。この場合、紙詰まりを起こした原稿から、または最初からスキャンをやり直します。
- 継続モードを設定している場合、紙詰まりを検知した状態でスキャンを中断し、エラーメッセージを表示します。

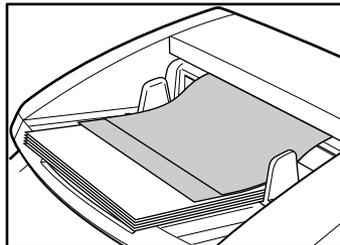
詰まった原稿を残っている原稿の先頭に戻し、スタートキーを押してスキャンを継続します。



- 重要** !
- スタートキーを押すと、紙詰まりを起こした原稿の画像を破棄してスキャンを継続します。
 - ストップキーを押すと、紙詰まりを検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了します。この場合、紙詰まりを起こした原稿から、または最初からスキャンをやり直します。

重送を検知したときの処理

スキャン中に重送を検知した場合、表示パネルにエラーメッセージを表示して搬送を停止します。



- 重要** ! ISIS/TWAINドライバの「継続モード」の設定により、重送を検知したときのメッセージおよび画像ファイルの処理が以下ようになります。



- 継続モードを設定していない場合、重送を検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了し、以下のメッセージを表示します。

原稿の長さで重送を検知した場合

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 2

超音波で重送を検知した場合

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 4

- 継続モードを設定している場合、重送を検知した状態でスキャンを中断し、以下のメッセージを表示します。

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

■ 継続モードを設定していない場合

重送した原稿が残っている原稿の先頭に戻してスキャンをやり直します。

■ 継続モードを設定している場合

1. 重送した原稿を確認します。



ヒント

- ラベル紙など原稿に貼り付けられた用紙の隙間を重送として検知したときは重送検知を無視することができます。
- 原稿が重送して重なっているときは、重送した原稿のスキャンをやり直します。

2. [◀]、[▶]キーで処理を選択し、[Enter] キーを押します。

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

[ムシスル]:

重送を検知したときの原稿の画像を保存して、スキャンを再開します。

[ヤリナオス]:

表示パネルが以下の表示になります。重送した原稿をトレイに戻してスタートキーを押してください。

スタートキーヲ オシテクタク サイ



重要

- スタートキーを押すと、重送を検知したときの画像を破棄してスキャンを再開します。
- ストップキーを押すと、重送を検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了します。この場合、重送した原稿から、または最初からスキャンをやり直します。

第3章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ	32
本体の清掃	32
センサーの清掃	32
読み取りガラスとローラーの清掃	33
電源プラグ	34
2. 給紙ローラーの交換	35
ローラーの交換時期	35
カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット	36
ローラーの取り外し / 取り付け	37

1. 日常のお手入れ

本機の読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。



注意

- 清掃の際は、スプレー容器は使用しないでください。精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤はけっして使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあり、故障の原因になります。
- 上部ユニットを開閉するときは手をはさまないように注意してください。

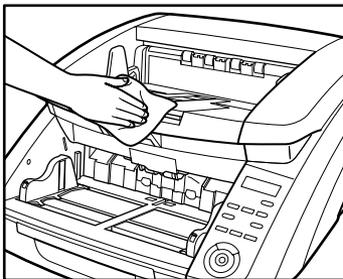
本体の清掃

■ クリーニングクロスについて

本機に同梱されているクリーニングクロスは、本体の内部の清掃の際に使用してください。

■ 本体表面の清掃

本体表面は、水を含ませて固くしぼった布で汚れを落とした後、きれいな乾いた布で拭きます。



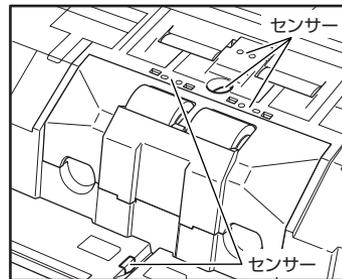
■ 給紙口、搬送路の清掃

給紙口や本体内部の搬送路にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。給紙口や搬送路にたまったほこりや紙粉はブロワーなどを使って定期的に取り除いてください。また大量の原稿をスキャンした後は、必ず紙粉の除去を行ってください。

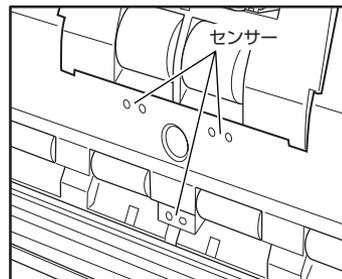
センサーの清掃

センサーにほこりやゴミがたまると誤検知の原因になります。センサー部にたまったほこりなどはブロワーなどを使い定期的に取り除いてください。

本体内部下側



本体内部上側（上部ユニット）

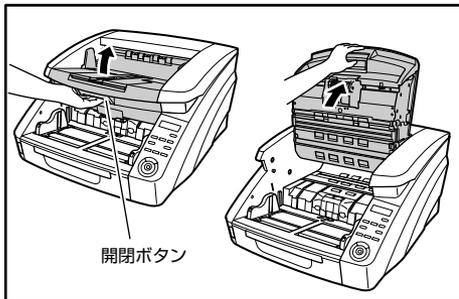


読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスや搬送ローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

! **重要** 読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店または、担当サービスに連絡して読み取りガラスを交換してください。

1. 電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 排紙補助トレイが開いているときは排紙補助トレイを閉じます。
3. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。

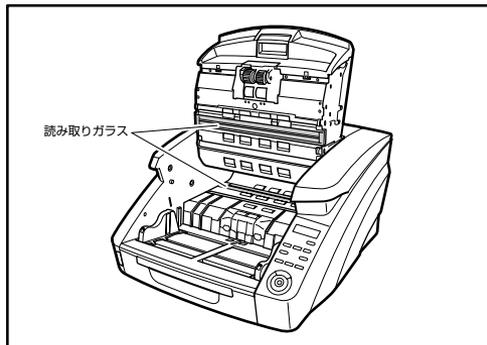


4. クリーニングクロスまたはきれいな乾いた布で、読み取りガラスの汚れを拭き取ります。

読み取りガラスは上下に2つあります。両方ともきれいに拭いてください。

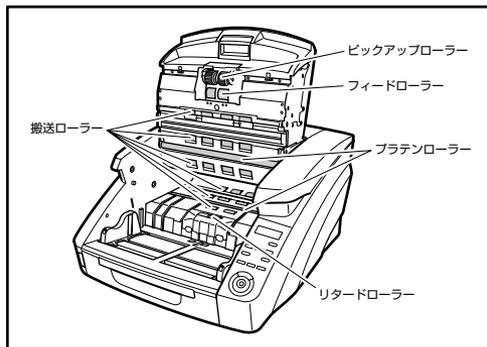


水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。



5. 水を含ませて固くしぼった布で、ローラーを回転させながら汚れを拭き取ります。

ローラーは図で示した箇所にあります。

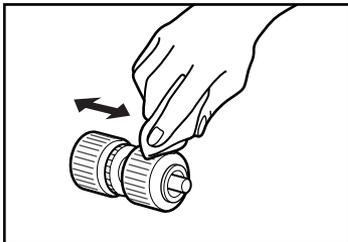


6. ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーを取り外します。(→P.37「ローラーの取り外し/取り付け」)

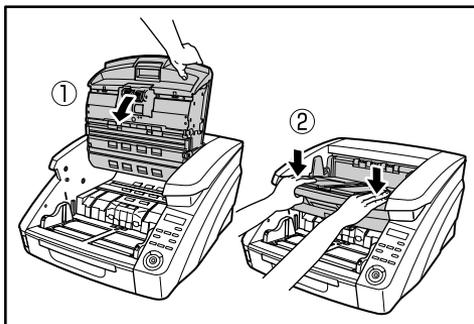


ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーは、ローラーを取り外してから汚れを拭き取ってください。

7. 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭き取ります。



8. 取り外したローラーを取り付けます。(→P.37「ローラーの取り外し/取り付け」)
9. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



! **重要** ローラーを清掃しても、紙詰まりや重送 (原稿が重なって送られること) がたびたび起こる場合は、ローラーが磨耗している可能性があります。その場合はローラーの交換が必要です。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

電源プラグ

電源プラグを長期間コンセントに接続したままにすると、コンセントの接続部分にほこりがたまり、火災や感電の原因になります。定期的に清掃してください。

2. 給紙ローラーの交換

給紙ローラーが磨耗してくると、搬送性能が低下して紙詰まりなど原稿の搬送エラーが起きやすくなります。ローラーの清掃を行っても原稿の搬送エラーの発生が改善されないようときは、交換ローラーキットをお買い求めになり給紙ローラー（ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー）を交換してください。

ローラーの交換時期

給紙ローラーは消耗品で、搬送枚数25万枚を目安に交換が必要になります。

ローラーの搬送枚数が25万枚を越えた場合、スキャナの電源をオンにしたときにローラー交換のメッセージがパネルに表示されます。また、コンピュータを再起動してスキャナを認識したときにコンピュータの画面にもローラー交換のメッセージが表示されます。

ローラー コウカンシ[®] キテ[®] ス



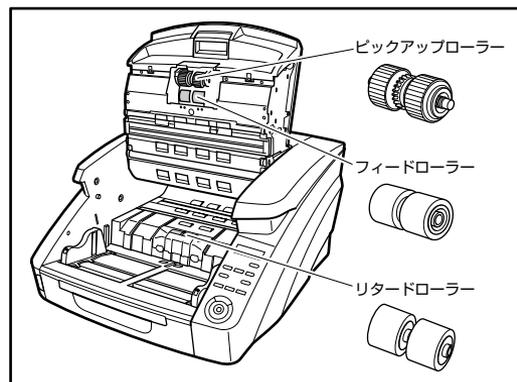
- ローラー交換のメッセージが表示されたら交換ローラーキットをお買い求めになり、取り外し/取り付けの手順に従ってローラーを交換してください。
 - ・ピックアップローラー（→P.37）
 - ・フィードローラー（→P.39）
 - ・リタードローラー（→P.41）
- ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数にかかわらず、ローラーの交換を行ってください。
- パネルに表示されたメッセージは、Count Clear キーでクリアされます。ただし、ローラーカウンタをリセットするまではスキャナの電源をオンにしたときに必ず表示されます。
- ローラーを交換したら、ローラーカウンタを必ずリセットしてください。（→P.36「カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット」）

■ 交換ローラーキットについて

交換ローラーキットは、ピックアップローラー、フィードローラーとリタードローラーの交換用キットです。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

商品名：交換ローラーキット

商品コード：4009B001



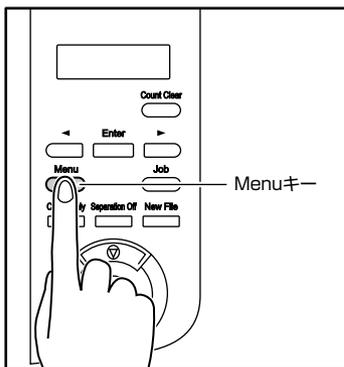
カウンタ（搬送枚数）の確認とリセット

使用中のローラーのカウンタは、ユーザーモードの「シヨウ ローラー マイスウ」で確認とリセットを行います。



- 「シヨウ ローラー マイスウ」は、交換したローラーの搬送枚数をカウントします。ローラーを交換したときは、カウンタのリセットを必ず行ってください。
- 「トータル スキャン マイスウ」は、搬送した原稿の累計枚数を表示し、「トータル スキャン マイスウ」はリセットできません。

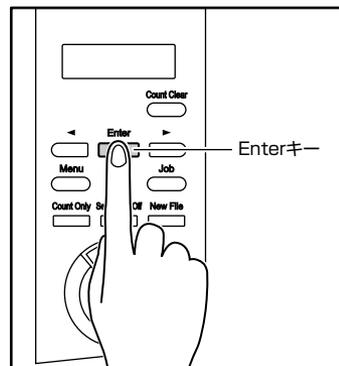
1. 操作パネルの「Menu」キーを押してユーザーモードに入ります。



2. [◀] キーを2回押して [シヨウ ローラー マイスウ] を表示させます。

シヨウ ローラー マイスウ
2 5 0 8 0 0

3. ローラーの搬送枚数を確認し [Enter] キーを押します。



カウンタのリセットモードになります。

シヨウ ローラー マイスウ
リセット [キャンセル]

4. [◀] キーを押して [リセット] を選択し、[Enter] キーを押します。

カウンタが0にリセットされます。

シヨウ ローラー マイスウ
0

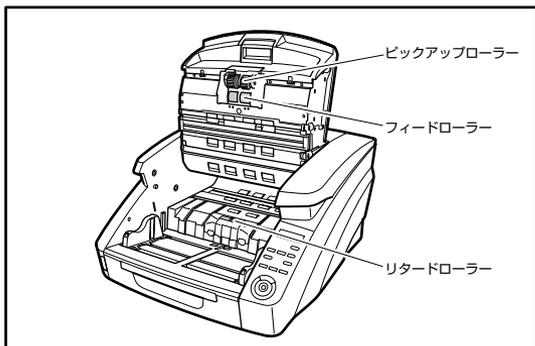
5. ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

ローラーの取り外し / 取り付け

ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順に従ってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

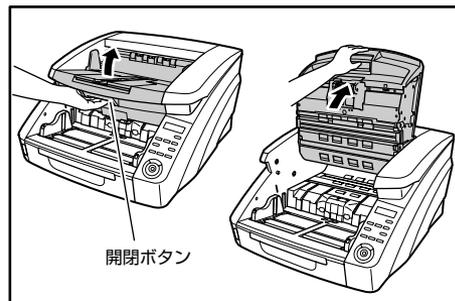


- ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が入ったまま作業をすると感電の原因になります。
- ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、ローラーに無理な力を加えないでください。ローラーの変形による搬送エラーの原因になります。

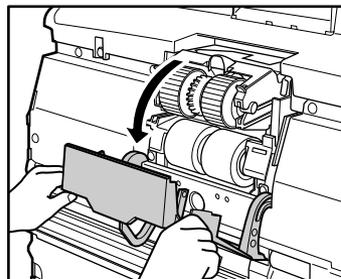


■ ピックアップローラーの取り外し / 取り付け

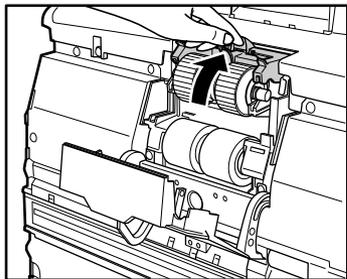
1. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるまで静かに開きます。



2. ローラーカバーを開きます。



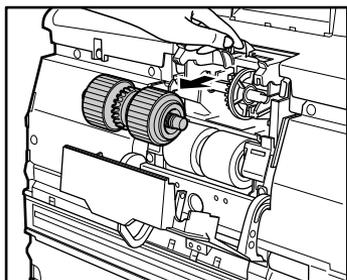
3. ローラーホルダを開きます。



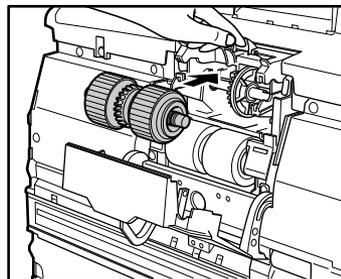
ローラーホルダは手を放すと元の位置に戻ります。

ヒント

4. ピックアップローラーを取り外します。

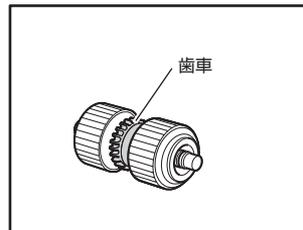


5. ローラーホルダを開き、ピックアップローラーをセットします。

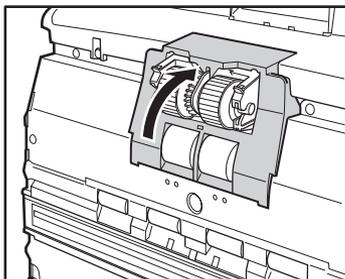


ピックアップローラーは歯車がついている側を左側にしてセットしてください。

重要

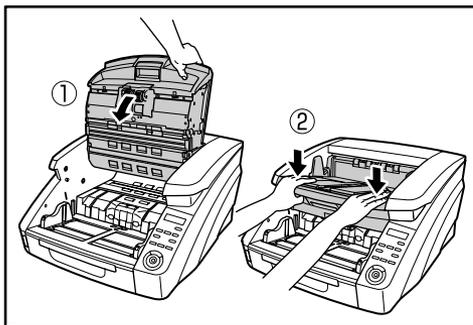


6. ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



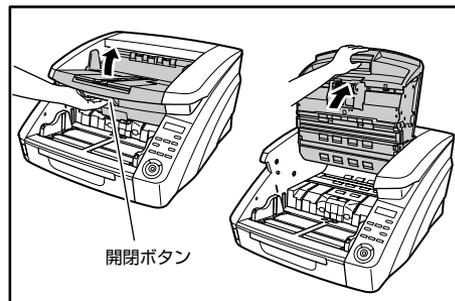
! ローラーホルダ、ローラーカバーがしっかり閉じていないと給紙エラーの原因になります。ローラーホルダ、ローラーカバーがしっかり閉じていることを必ず確認してください。
重要

7. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)

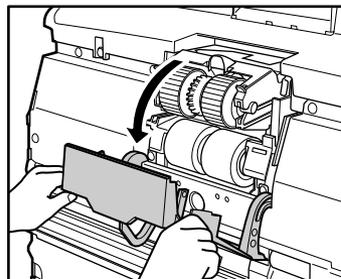


■ フィードローラーの取り外し / 取り付け

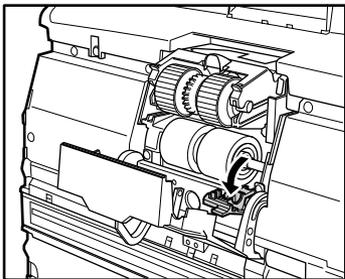
1. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるまで静かに開きます。



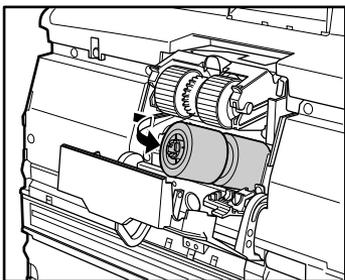
2. ローラーカバーを開きます。



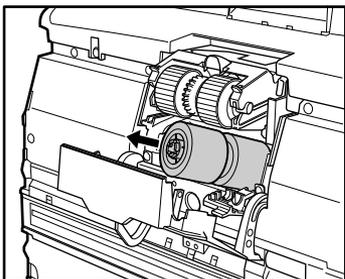
3. ローラー固定レバーを手前に倒します。



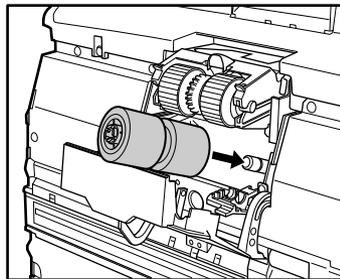
4. フィードローラーを右方向にスライドさせて手前に起こします。



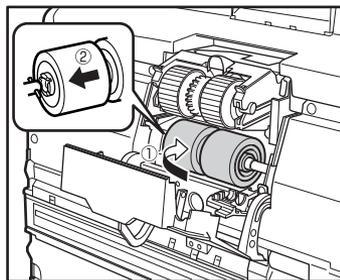
5. フィードローラーを取り外します。



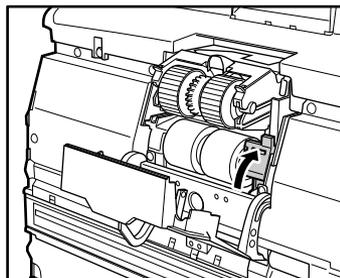
6. フィードローラーをピンにセットします。



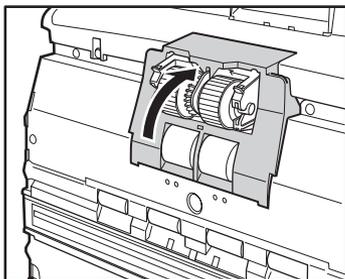
7. フィードローラーをセットし ①、ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせます。②



8. ローラー固定レバーを起こしてフィードローラーを固定します。

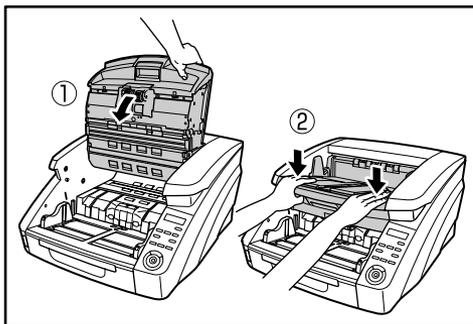


9. ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



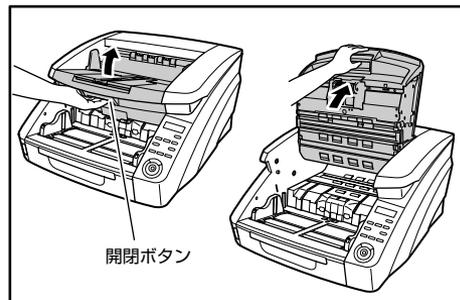
! ローラーカバーがしっかり閉じていないと給紙エラーの原因になります。ローラーカバーがしっかり閉じていることを必ず確認してください。

10. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)

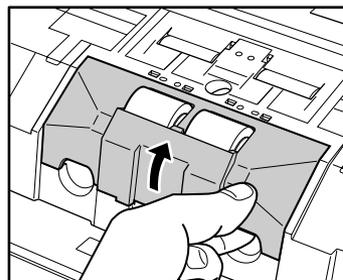


■ リタードローラーの取り外し / 取り付け

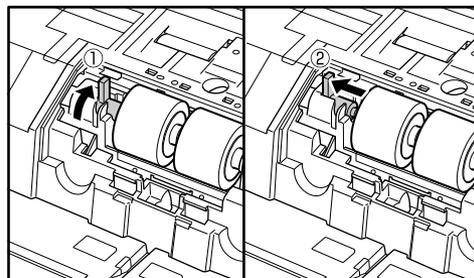
7. 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるまで静かに開きます。



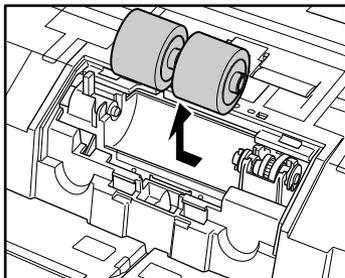
2. ローラーカバーに指をかけて取り外します。



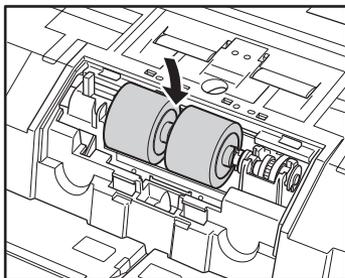
3. ローラー固定レバーを① → ②の順に動かします。



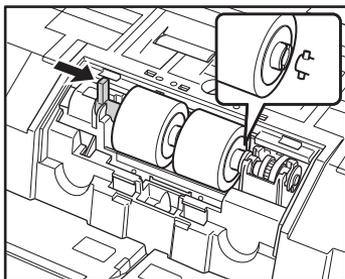
4. リタードローラーを取り外します。



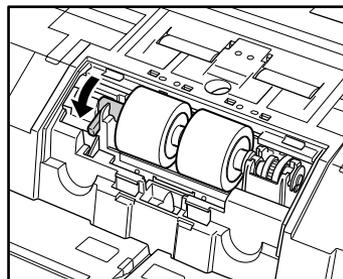
5. リタードローラーをセットします。



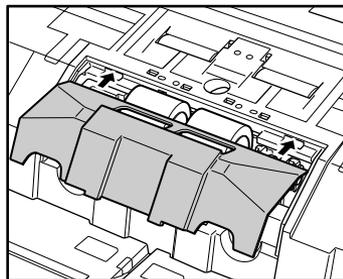
6. ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせて、ローラー固定レバーを矢印方向にスライドさせます。



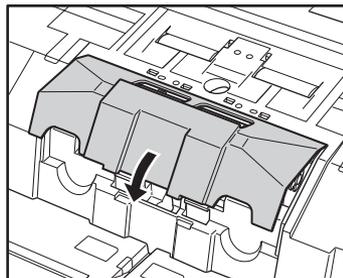
7. ローラー固定レバーを倒してリタードローラーを固定します。



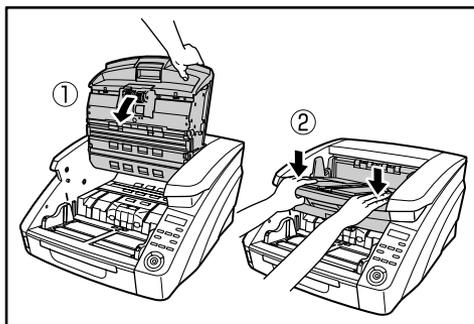
8. ローラーカバーをセットします。



9. ローラーカバーの手前を押し込みます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



10. 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。 (②)



注意

フックが完全に引っ掛かり、ローラーカバーが浮いていないことを確認してください。ローラーカバーが浮いた状態だと、給紙トレイが引っ掛かり、正常に動作しない原因になります。

第4章 こんなときは

1. メッセージ	46
ステータス表示	46
エラーメッセージ	47
2. 困ったときは	49
トラブルの種類	49
現象と対処方法	49

1. メッセージ

表示パネルに表示されるメッセージには、スキャナの状態を表示する「ステータス表示」と、スキャナにトラブルが発生したときに表示する「エラーメッセージ」があります。

ステータス表示

スキャナの状態によって表示パネルには以下のメッセージが表示されます。

● カウントチュウ...

カウントチュウ . . .
X X X X X

状態： カウントオンリーモードで動作中です。

● スタートキーヲ オシテクダサイ

スタートキーヲ オシテクタ`サイ

状態： 待機中です。原稿をセットして、スタートキーを押してください。

● スキャン カノウ

スキャン カノウ
0 0 0 0 0

状態： スキャナが使用可能です。

● スキャン チュウ...

スキャン チュウ . . .
X X X X X

状態： スキャン中です。

● スリープチュウ...

スリープ`チュウ . . .

状態： スリープモードに移行しています。どれかキーを押すと復帰します。

● シバラク オマチクダサイ

シハ`ラク オマチクタ`サイ

状態： スキャナが処理中です。表示が変わるまでお待ちください。

● ベリファイチュウ...

へ`リファイチュウ . . .
X X X X X

状態： ベリファイスキャン中です。

● ローラー コウカンジキデス

ローラー コウカンシ`キテ`ス

状態： 使用中のローラーの搬送枚数が交換目安の25万枚を越えました。ローラーの状態を確認してください。
(→P.35「ローラーの交換時期」)

エラーメッセージ

表示パネルに以下のメッセージが表示された場合、本機にエラーが発生しています、対処方法に合わせて処理を行ってください。

■ インプリンタエラー

インフ[°] リンタエラー

H 0 0 1

エラーコード：H001

現象： インプリンタにインクカートリッジが装着されていません。

対処： インクカートリッジを装着してください。

■ カバーガ アイテマス

カハ[°] ーカ[°] アイテマス

C 0 0 1

エラーコード：C001

現象： 上部ユニットが開いています。

対処： 上部ユニットを閉じてください。(→P.34)

エラーコード：C009

現象： インプリンタカバーが開いています。

対処： インプリンタカバーを閉じてください。

エラーコード：C010

現象： ピックアップローラーカバーが開いています。

対処： ピックアップローラーカバーを閉じてください。
(→P.39)

■ カミガツマリマシタ

カミカ[°] ツマリマシタ

P 0 0 1

エラーコード：Pxxx

現象： 紙詰まりです。

対処： 上部ユニットを開いて詰まっている原稿を取り除いてください。(→P.28)



ヒント

エラーコードは、詰まった原稿の位置によって変わります。

- ・ P001、P002：給紙口付近に原稿が詰まっています。
- ・ P004：スキャナ内部に原稿が詰まっています。
- ・ P006、P007：排紙口付近に原稿が詰まっています。

* P001、P006は、原稿の搬送速度が速過ぎたり、原稿の先端が正常に搬送されなかった等の原因が考えられます。

■ サービス コール エラー

サービ[°] ス コール エラー

E 0 0 0

エラーコード：Exxx

現象： スキャナの内部エラーです。

対処： 電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示されるときにはエラーコードを控えて、担当サービスに連絡してください。(→P.57)

■ シャコウヲ ケンチシマシタ

シャコウヲ ケンチシマシタ
J 0 1 8

エラーコード：J018

現象： 原稿が斜行して搬送路の壁に接触しました。

対処： 原稿を取り除いて確認してください。

■ ジュウソウヲ ケンチシマシタ

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 4

エラーコード：D002

現象： 原稿の長さで重送を検知しました。

対処： 原稿を確認し、スキャンをやり直してください。
(→P.29)

エラーコード：D004

現象： 超音波で重送を検知しました。

対処： 原稿を確認し、スキャンをやり直してください。
(→P.29)

■ ジュウソウヲ ケンチシマシタ (継続モード時)

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

現象： 継続モードでスキャン中に原稿の重送を検知しました。

対処： 原稿を確認し、スキャンを継続してください。(→P.30)

■ ステープルヲ ケンチシマシタ

ステープ ルヲ ケンチシマシタ
J 0 0 1

エラーコード：J001

現象： ステープルで綴じられた原稿を検知しました。

対処： ステープルを取り除いてからやり直してください。

■ トレイ エラー

トレイ エラー
E 0 2 1

エラーコード：E021

現象： 給紙トレイの動作エラーです。

対処： 電源を入れ直してください。

■ マイスウガ イッチ シマセン

マイスウカ イッチ シマセン
U 0 0 1

エラーコード：U001

現象： 設定した枚数でスキャンが終了しません。

対処： 原稿の枚数を確認してからやり直してください。

エラーコード：U002

現象： 設定した枚数より少ない枚数でスキャンが終了しました。

対処： 原稿の枚数を確認してからやり直してください。

2. 困ったときは

スキャナを使用するとき起こりうるトラブルと対処方法について説明します。

トラブルの種類

トラブルには以下のような現象が考えられます。

- 電源が入らない
- スキャナが認識されない
- スキャンできない (→ P.50)
- スキャン速度が遅い (→ P.50)
- 正しく給紙されない (→ P.50)
- 保存した画像ファイルが開けない (→ P.51)
- スキャン結果がおかしい (→ P.51)

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または担当サービス、サービス窓口にご相談ください。

現象と対処方法

■ 電源が入らない

スキャナの電源が入らないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ 電源コードが正しく接続されているか？
- ✓ 電源プラグがコンセントに差し込まれているか？

■ スキャナが認識されない (USB 接続の場合)

USB接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因 お使いのUSBインターフェースにスキャナが対応していない

対処方法 本製品は、すべてのUSBインターフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

原因 USBケーブルにスキャナが対応していない

対処方法 同梱のUSBケーブルをお使いください。

原因 USBハブを使用している

対処方法 USBハブを取り外してお使いください。

■ スキャナが認識されない (SCSI 接続の場合)

SCSI接続でスキャナが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？
- ✓ お使いのSCSIカードが正常に動作しているか？
- ✓ PCの電源をオンにしてからスキャナの電源をオンにしているか？

! SCSIの場合、スキャナの電源を後からオンにするとPCが正常に認識できない場合があります。
重要

その他、以下のような原因が考えられます。

原因 お使いのSCSIインターフェースにスキャナが対応していない

対処方法 推奨のSCSIカードをお使いください。

原因 SCSI IDの重複

対処方法 デジチェーン接続で使用している他のSCSI機器とSCSI IDが重複しないように設定してください。

原因 SCSIターミネータの設定ミス

対処方法 本機とPCの間にSCSI機器を接続する場合、ターミネータは必ずオフに設定してください。

原因 デジチェーン接続による不具合

対処方法 デジチェーン接続を中止してお使いください。

■ スキャンできない

読み取りの操作を行ってもスキャンできないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナとPCがケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	ISIS/TWAINドライバとジョブ登録ツールが正常にインストールされていない
対処方法	ISIS/TWAINドライバとジョブ登録ツールをアンインストールして、インストールを最初からやり直してください。



重要

- システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10秒以上待ってからスキャナの電源をオンにしてください。その後、エラーが続けて発生するようなときは、スキャナとコンピュータを再起動してください。
- コンピュータのメモリ容量を多く使用する設定でスキャンした場合、1度目のスキャンでは正常にスキャンできますが、同じ設定でもう一度スキャンするとメモリ不足エラーとなってスキャンできないことがあります。この場合は、使用するアプリケーションを再起動し、設定を変更してから再度スキャンしてください。

■ スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは最初に次のことを確認してください。USBインターフェースがHi-Speed USB2.0の速度を得られていない環境では、スキャン速度が低下します。

- ✓ USBインターフェースにUSB Full-Speed (USB1.1相当)を使用していないか？
- ✓ USBケーブルは同梱品 (Hi-Speed USB2.0に対応) を使用しているか？
- ✓ USBハブでUSB1.1相当のデバイスを同時に使用していないか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	他のアプリケーションが起動している
対処方法	起動中のアプリケーションを終了させてください。
原因	ウイルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している
対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMPフォルダに一時ファイルを作成できない
対処方法	ハードディスクのファイルを整理して空き容量を増やしてください。

■ 正しく給紙されない

原稿が正しく給紙されないときは、最初に次のことを確認してください。

- ✓ 静電気などで原稿が密着していないか？
- ✓ スキャナが対応していないサイズや紙厚、紙質の原稿を使用していないか？ (→P.13「原稿について」)
- ✓ 給紙ローラーが汚れていないか？
- ✓ 給紙ローラーが磨耗していないか？



重要

- 原稿が密着していると重送の原因になったり、紙厚や紙質によっては紙詰まりの原因になります。原稿をセットする前には、原稿をよく確認してからセットしてください。
- ローラーは消耗品です。ローラーを清掃しても改善が見られないようなときは、お買い求めの販売店または担当サービスに連絡し、「交換ローラーキット」をお買い求めになり給紙ローラー (ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー) の交換を行ってください。(→P.35「給紙ローラーの交換」)

その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象	原稿を搬送しない
原因	連続手差しモードになっている
対処方法	ユーザーモードで連続手差しモードを[OFF]にします。(→P.22「連続手差しモードの設定」)

■ 保存した画像ファイルが開けない

CapturePerfect 3.0 で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ 開こうとしたアプリケーションがCaptureperfect3.0で保存した画像ファイル (*.bmp、*.tif、*.jpg、*.pdf) に対応しているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	マルチページ TIFF ファイルに対応していない
対処方法	マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開いてください。または、CapturePerfect 3.0で保存するTIFFファイルをシングルページTIFFファイルで保存してください。
原因	CapturePerfect 3.0で設定する圧縮形式に対応していない
対処方法	CapturePerfect 3.0 で画像ファイルを開き、圧縮形式を [なし] にして保存し直してください。

■ スキャン結果がおかしい

スキャンした画像がおかしかったりするときは、ISIS/TWAINドライバの設定が適切でない場合が多くあり、また、お使いのアプリケーションによっては、本機の機能に対応していないためにスキャンした画像がおかしくなる場合があります。

現象	スキャンした画像が濃い (または薄い)
原因	明るさの設定が適正な値になっていない。
対処方法	画像が濃いときは明るさの設定値を高く、画像が薄いときには明るさの設定値を低く調整してください。
現象	原稿の裏面の文字が写り込む
原因	明るさの設定値が低い。
対処方法	明るさの設定値を高くします。または、「裏写り/地色除去」の設定を有効にします。
原因	紙厚が薄い
対処方法	複写機で原稿をコピーしてからスキャンします。

現象	両面スキャンができない
原因	読み取り面の設定が [片面] になっている
対処方法	読み取り面を [両面] にてスキャンします。読み取り面の設定を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像が保存されません。

現象	スキャンした画像の周りに黒い枠ができる
原因	指定したサイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がずれている。
対処方法	以下の対処方法から選択します。 (1) 用紙サイズの設定を [自動検知] にする (2) マージンの設定を一方向に調整する (3) 「黒枠消し」を有効にする

現象	スキャンした画像が斜めになる (斜行)
原因	原稿ガイドの位置が原稿より広くなっています。
対処方法	原稿ガイドの位置を原稿の幅に合わせます。

現象	画像にすじや汚れが入る
原因	読み取りガラスやローラーが汚れています
対処方法	読み取りガラスおよびローラーを清掃してください。 (→ P.32 「日常のお手入れ」) 読み取りガラスにキズが付いている場合にも画像にすじが入る原因になります。このようなときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

現象	原稿によって画像が異常になる
原因	黒枠消しなどの検知機能を有効にしてスキャンした原稿の中に、原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれている (原稿の端を正常に処理できない)
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれているときは、検知機能をオフにしてスキャンするか、原稿を分けてスキャンしてください。

現象	アプリケーションによって画像が異常になる
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した
対処方法	自動サイズ検知などの設定は、アプリケーションが対応していない場合があり、このような機能を使用してスキャンした場合、スキャン結果が異常になることがあります。 アプリケーションによって画像が異常になるときは、検知機能をオフにしてスキャンしてください。

第5章 付 録

1. 仕 様.....	54
本体仕様	54
消耗品	55
外形寸法図	56
2. 保証とアフターサービス	57
保証とアフターサービス	57
サービス&サポートのご案内	57
保守サービスのご案内	58
3. 索引.....	60

1.仕様

本体仕様

形式	卓上型シートスルースキャナ
読み取り原稿サイズ	
幅：	50.8 - 305 mm
長さ：	70 - 432 mm
厚さ：	52 - 209 g/m ² (0.06mm - 0.25mm) (連続給紙) 42 - 255 g/m ² (0.05mm - 0.3mm) (手差し給紙)
給紙方法	連続給紙 / 手差し給紙 / 連続手差し給紙
積載枚数	
DR-6050C	上質紙300枚または高さ28 mm以下 (最大)
DR-9050C	上質紙500枚または高さ48 mm以下 (最大)
読み取りセンサー	コンタクトイメージセンサー
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面 / 白紙スキップ
読み取りモード	白黒、誤差拡散、アドバンステキストエンハンスメント、アドバンステキストエンハンスメントII、256階調グレー、24ビットカラー
読み取り解像度	100dpi / 150dpi / 200dpi / 240dpi / 300dpi / 400dpi / 600dpi

読み取り速度 (A4 縦送り)

		DR-6050C		DR-9050C	
白黒	片面	200dpi	60 枚 / 分	90 枚 / 分	
		300dpi	60 枚 / 分	90 枚 / 分	
	両面	200dpi	120 面 / 分	180 面 / 分	
		300dpi	120 面 / 分	180 面 / 分	
グレー	片面	200dpi	60 枚 / 分	90 枚 / 分	
		300dpi	60 枚 / 分	90 枚 / 分	
	両面	200dpi	120 面 / 分	180 面 / 分	
		300dpi	120 面 / 分	180 面 / 分	
カラー	片面	200dpi	60 枚 / 分	90 枚 / 分	
		300dpi	60 枚 / 分	90 枚 / 分	
	両面	200dpi	120 面 / 分	180 面 / 分	
		300dpi	120 面 / 分	170 面 / 分	

その他 重送検知、斜行補正、ユーザーモード、長尺モード、半折りスキャン

外形寸法 480 (W) × 531 (D) × 311 (H) mm
最大外形寸法 (給紙補助トレイ / ワイヤ、排紙補助トレイ / 排紙ストッパーを開いた状態)

480 (W) × 718 (D) × 390 (H) mm

質量 約22.5kg

電源 AC100V 50/60Hz

消費電力 動作時 (最大) : 86 W
Sleep Mode時 : 3.3 W

騒音 72 dB以下

使用環境 温度 : 10℃-32.5℃

湿度 : 20%-80%RH

* 製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

消耗品

交換ローラーキット (商品コード: 4009B001)

給紙ローラー (ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー) の交換用キットです。(→ P.35 「給紙ローラーの交換」)



重要

- ・ 給紙ローラーは消耗品です。ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数にかかわらず、ローラーの交換を行ってください。
- ・ 交換ローラーキットについての詳細については、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

インクカートリッジ: 青 (商品コード: 3693A002)

インプリンタで使用する青色のインクカートリッジです。

インクカートリッジ: 赤 (商品コード: 3693A003)

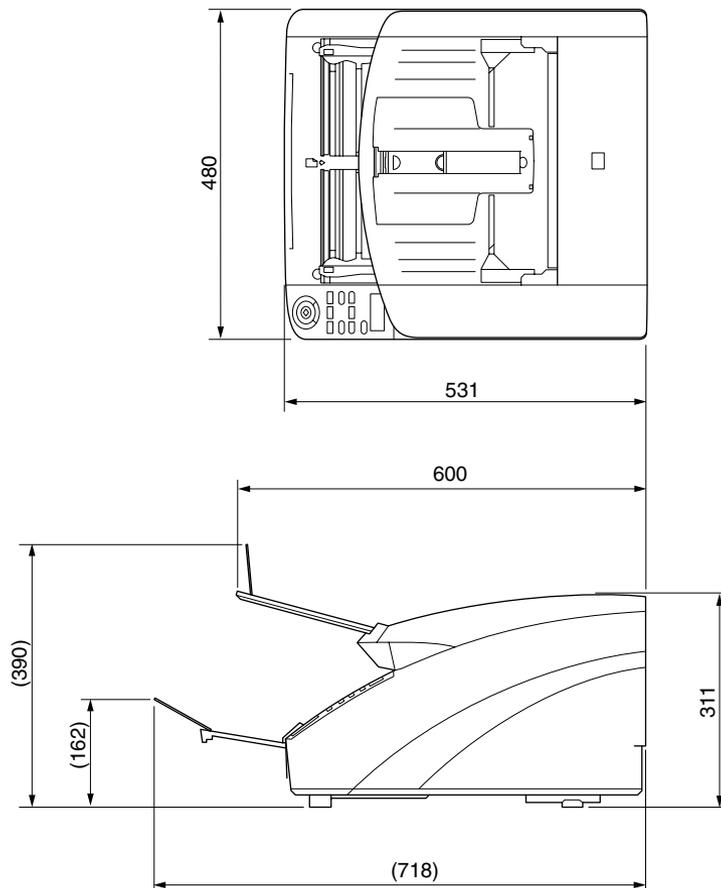
インプリンタで使用する赤色のインクカートリッジです。

インクカートリッジ: 緑 (商品コード: 3693A004)

インプリンタで使用する緑色のインクカートリッジです。

外形寸法图

单位：mm



2. 保証とアフターサービス

保証とアフターサービス

- **この商品には保証書が付いています**
保証書は、お買い上げ販売店でお渡します。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- **保証期間**
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- **修理サービスのご相談**
修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または お客様相談センターへご相談ください。
- **修理を依頼される前に**
「困ったときは」(→P.49) にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。
- **修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと**
 - ー お客様のお名前
 - ー ご住所、お電話番号
 - ー 商品の品番
 - ー 故障の内容（できるだけ詳しく）
- **補修用性能部品について**
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

サービス&サポートのご案内

- **お客様相談センター**
取り扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げいただいた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター  050-555-90072
全国共通電話番号

受付時間：<平日> 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。)

- ※ 上記番号は050から始まるIP電話(株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー (NTT-ME) のXePhion Call Direct) を利用しています。
NTTの固定電話(一般回線)から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金(10.4円/3分)でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ※ お客様が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話(接続)可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象(話中音、アナウンス、ブザー音など)はプロバイダーによって異なります。
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。
- ※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャンホンホームページ(<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>)をご参照ください。

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン(株)販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キヤノンホームページ <http://canon.jp/>

- ※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ 通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

● ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任を持って機能の維持・管理など、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)



● 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ費用が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

- **都度の修理料金は不要**
保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。
- **保守点検の実施**
お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。
(別途、有料となります。)

※天災、火災、第三者の改造などに起因するトラブルは除きます。

※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のお勧め

ご愛用品を安心してお使いいただく為に、保守契約に加入をお勧めいたします。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン(株)までお願いします。

3. 索引

英字

CapturePerfect 3.0 24

ア行

安全にお使いいただくために 2

エラーメッセージ 47

カ行

カウンタ 36

各部の名称と機能 8

紙詰まり 28

給紙トレイ 16

 トレイ位置 16

給紙方法 21

 手差し給紙 21

 連続給紙 21

 連続手差しモード 21

給紙補助トレイ 17

給紙ローラーの交換 35

 交換時期 35

クリーニングクロス 32

継続モード 30

原稿ガイド 17, 20

 調整 18

原稿について 13

現象と対処方法 49

交換ローラーキット 35

困ったときは 49

サ行

重送 28

重送検知 29

上部ユニット 33

ジョブ機能 23

スキャナの移動 3

スキャン 23

ステータス表示 46

清掃

 ガラス 33

 センサー 32

 電源プラグ 34

 本体 32

 ローラー 33

設置場所 2

操作パネル 10

タ行

長尺モード 14

電源スイッチ 12

電源について 2

電源のオン/オフ 12

トラブルの種類 49

ナ行

日常のお手入れ 32

日常の取り扱い 3

ハ行

廃棄 4

排紙ストッパー 20

排紙トレイ 20

排紙補助トレイ 20

はじめに iii

マ行

マニュアルの構成 iii

メッセージ 46

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER